



アドバンテッジ pdCa

2025/4/2（水）リリース機能のご紹介

Confidential

アドバンテッジpdCaは、2025年4月2日（水）に

課題別調査「職場のコミュニケーション調査」

をリリースいたしました。

1.課題別調査とは

2.職場のコミュニケーション調査とは

3.ご利用ガイド

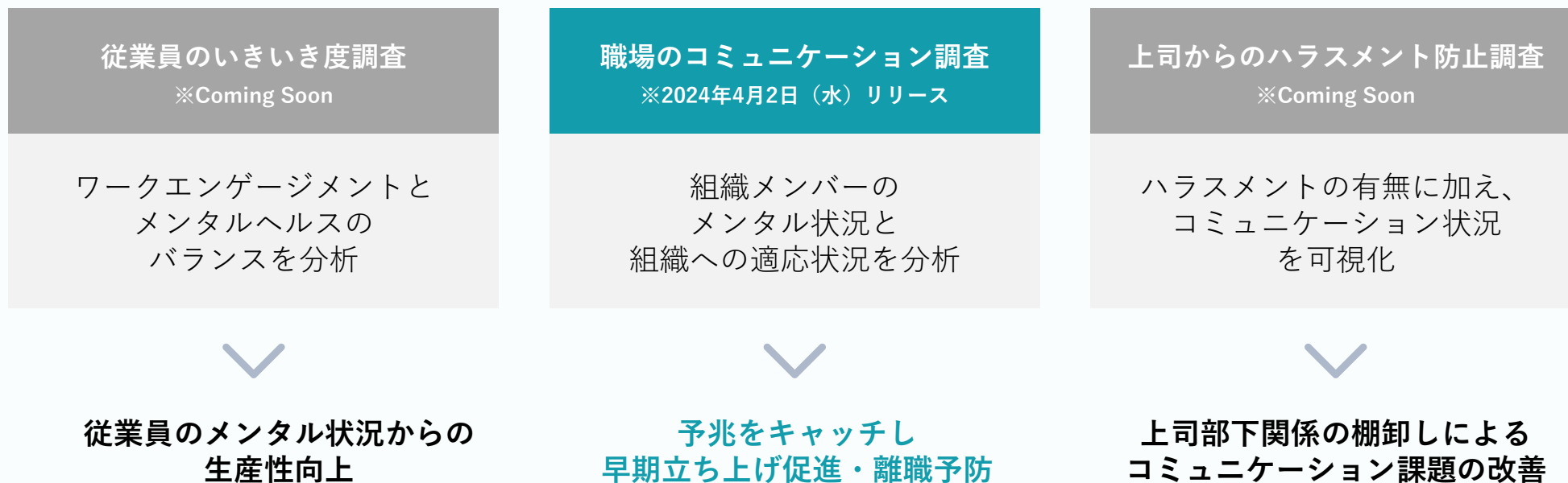
3-1.調査マスタ作成

3-2.レポート

1. 課題別調査とは

課題別調査とは、特定の人事組織課題解決に向けた、
ARMおすすめの組み合わせ調査です。

※課題別調査は、組み合わせ調査をご利用可能なご契約プランのみ利用可能です。



課題別調査には、通常の調査グループレポートの他に、
専用の分析レポートを表示します。

■ 概要

新卒や中途採用者の早期退職や休職が組織の生産性に与えるインパクトは大きく、企業組織ではさまざまな離職防止に向けた取り組みを行っています。そのためには従業員各々の状況を把握し、個別に適切に対処していく必要があります。この調査では組織の新たなメンバーがまず直面するコミュニケーションの問題に焦点を当て調査を行い、個人の適応状況を確認します。

■ 調査項目

**3つの結果指標（ワークエンゲージメント、エンプロイーエンゲージメント、ストレス反応）と
職場のコミュニケーションに関連する因子（対会社、対上司、対同僚）**

※調査項目は「エンゲージメント調査」「メンタルヘルス調査」の組み合わせとなります。

※留意事項

- 従業員個人単位へのフォローを実現するため、調査設定でのサービス管理者の個人結果表示はONに設定いただくようお願いします。
- 従業員個人の数値を用いた分析レポートとなるため、調査対象は1000人までとなります。（分析レポートの描画の都合上、1グループ30名以下の小グループに分けて調査いただくことをお勧めします）

3.ご利用ガイド

3-1. 調査マスタ作成

課題別調査では、調査マスタ作成時、各課題に沿ったおすすめの調査設問が予め設定されています。必要に応じて、最大100問まで設問を追加することができます。

最大100問まで組み合わせ可能

エンゲージメント

メンタルヘルス

メンタルタフネス度

ハラスメント

生活習慣

プレゼンティーズム

独自調査

職場のコミュニケーション
の必須設問
+
他は自由に追加

自由に組み合わせ

3-1. 調査マスタ作成

以下の手順で調査マスタを作成します。

1

管理画面のメニューから「調査」>「調査マスタ設定」を開きます。「新規調査マスタ作成」>「自分で組み合わせて作成する」をクリックします。「課題に沿った調査を作成する」>「職場のコミュニケーション」を選択し、「マスタ作成へ進む」をクリックします。



2

調査マスタ名と調査の説明を入力します。調査マスター一覧で調査マスタの概要がわかるように記載してください。
※課題調査名が予め記載されています。



3-1. 調査マスタ作成

3

調査、調査因子を選択します。

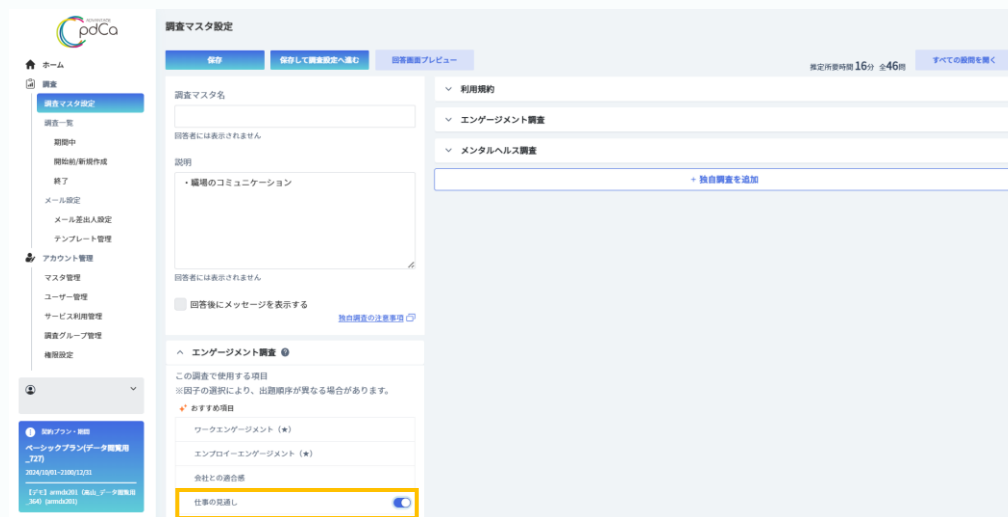
※選択した課題を把握する上で必要な項目は予め設定されており、OFFすることはできません。

※ON/OFFボタンが表示される項目については、ON/OFFの切り替えが可能です。

課題別調査に加えて、他の調査を追加することも可能です。

例1) 職場のコミュニケーションの分析レポートには対象外のエンゲージメント調査項目を追加する。

例2) 独自調査をONにし、設問を追加する



4

その他、他の調査と同様に設定し、「保存」にて調査マスタを作成します。



3-2. レポート（調査グループ別結果一覧）

3つの結果指標の回答者の割合を表示します。（偏差値40未満、40以上60未満、60以上の3つの区分）

分析レポートに遷移するには、表の各調査項目の結果数値の文字列、もしくは、結果を閲覧したい調査グループをクリックします。

JP
レポート閲覧者

調査一覧 / 調査グループ別結果一覧

職場のコミュニケーション調査 エクスポート

実施回

2回目 2025/03/28 ~ 2025/03/28

調査グループ

選択なし

属性

選択なし

表示

凡例

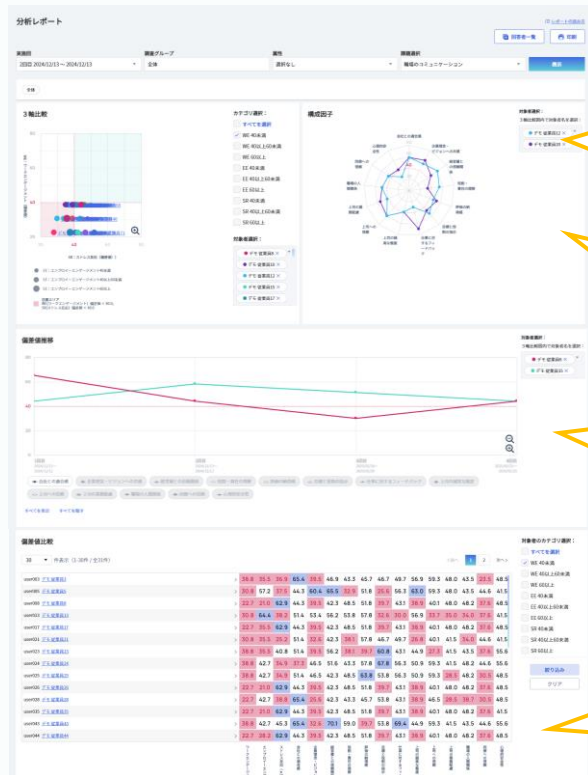
	回答率	課題別調査									偏差値40未満因子数	低偏差値25以上
		職場のコミュニケーション										
		WE (ワークエンゲージメント) 40未満の割合	WE (ワークエンゲージメント) 40~60の割合	WE (ワークエンゲージメント) 60以上の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 40未満の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 40~60の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 60以上の割合	SR (ストレス反応) 40未満の割合	SR (ストレス反応) 40~60の割合	SR (ストレス反応) 60以上の割合		
全体	97.0% <small>97 / 100人</small>	37.1%	21.6%	21.6%	22.0%	21.6%	5.1%	22.0%	21.6%	0.0%	1	
第一階層	97.0% <small>97 / 100人</small>	37.1%	21.6%	21.6%	41.2%	21.6%	5.1%	51.5%	21.6%	0.0%	1	
第二階層	97.7% <small>86 / 88人</small>	22.0%	22.0%	22.0%	40.6%	22.0%	3.4%	52.3%	22.0%	0.0%	2	

WE (ワークエンゲージメント) 40未満の割合	WE (ワークエンゲージメント) 40~60の割合	WE (ワークエンゲージメント) 60以上の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 40未満の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 40~60の割合	EE (エンプロイエンゲージメント) 60以上の割合	SR (ストレス反応) 40未満の割合	SR (ストレス反応) 40~60の割合	SR (ストレス反応) 60以上の割合
--------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------	---------------------	----------------------	---------------------

キホンの読み方 偏差値40未満の因子の回答者割合が大きいところから見ていきます。25%以上の場合は表示自体が■になります、

3-2. レポート（分析レポート）

「職場のコミュニケーション調査」の分析レポートでは、
従業員個人の3つの結果指標（ワークエンゲージメント、エンプロイーエンゲージメント、ストレス反応）
および、職場のコミュニケーションに関する因子の状態を確認します。



3軸比較 (p16参照)
3軸の結果指標のバランス（ワークエンゲージメント、エンプロイーエンゲージメント、ストレス反応）により、個人のメンタル状態を可視化します。

構成因子 (p17参照)
対象者別に、コミュニケーションに関する因子の偏差値のバランスをレーダーチャートで確認します。

偏差値推移 (p18参照)
対象者の各因子の偏差値推移を折れ線グラフで確認します。

偏差値一覧 (p19参照)
対象者の各因子の偏差値を一覧で確認し、必要であれば個人結果レポートを開き、設問ごとの回答内容を確認します。

3-2. レポート（分析レポート：3軸比較）

ワークエンゲージメント（WE）、エンプロイーエンゲージメント（EE）、ストレス反応（SR）の3軸で、回答者の各アウトカムの状態を表示します。

従業員名をクリックすると、該当者の職場のコミュニケーションの関連因子の偏差値のレーダーチャートと折れ線グラフが表示されます。

3軸比較



カテゴリ選択：

- すべてを選択
- WE 40未満
- WE 40以上60未満
- WE 60以上
- EE 40未満
- EE 40以上60未満
- EE 60以上
- SR 40未満
- SR 40以上60未満
- SR 60以上

対象者選択：

- デモ従業員3 ×
- デモ従業員5 ×
- デモ従業員13 ×
- デモ従業員17 ×
- デモ従業員35 ×

カテゴリ選択

グラフに表示する対象者を3軸の偏差値で抽出します。同一項目内はOR検索（どれか一つでも該当すれば対象）、項目間にはAND検索（絞り込み）となります。

キホンの読み方

注意エリア に位置し、かつ、円が小さい● 対象者を確認します。

注意エリア

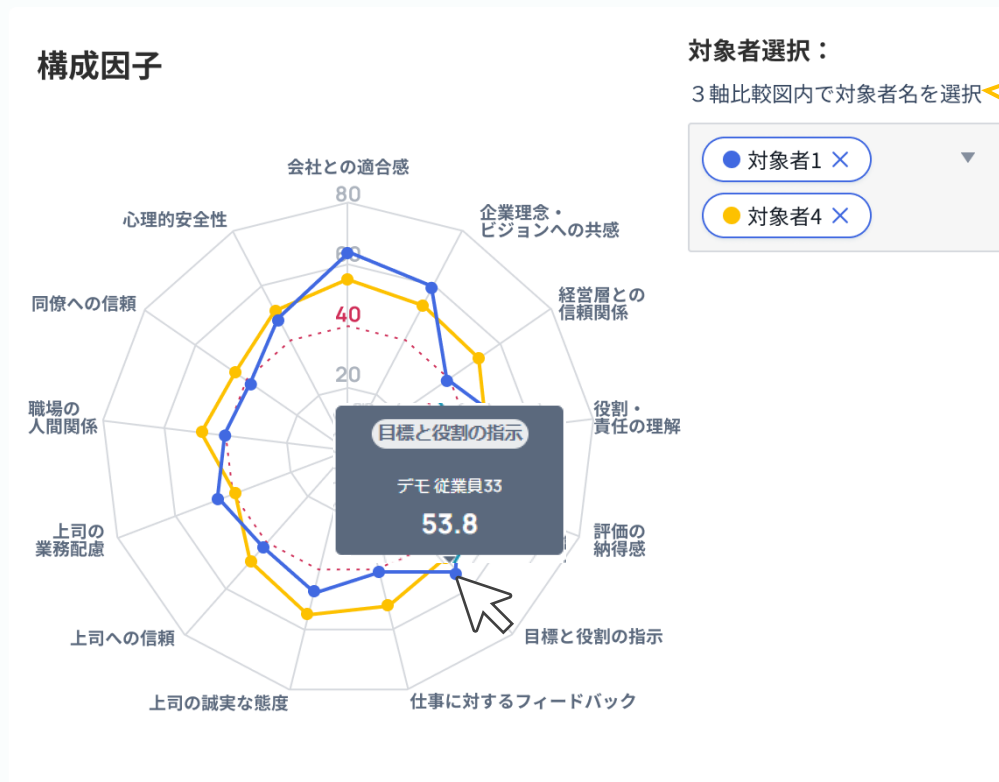
ワークエンゲージメント（WE）、ストレス反応（SR）の両方において偏差値が低い（40未満）

- EEの偏差値が40未満

該当者は、3つの因子において偏差値が40未満と低く、優先的なフォローが必要です。

3-2. レポート（分析レポート：構成因子）

職場のコミュニケーションに関連する各因子のバランスについてレーダーチャートで表示します。



対象者選択

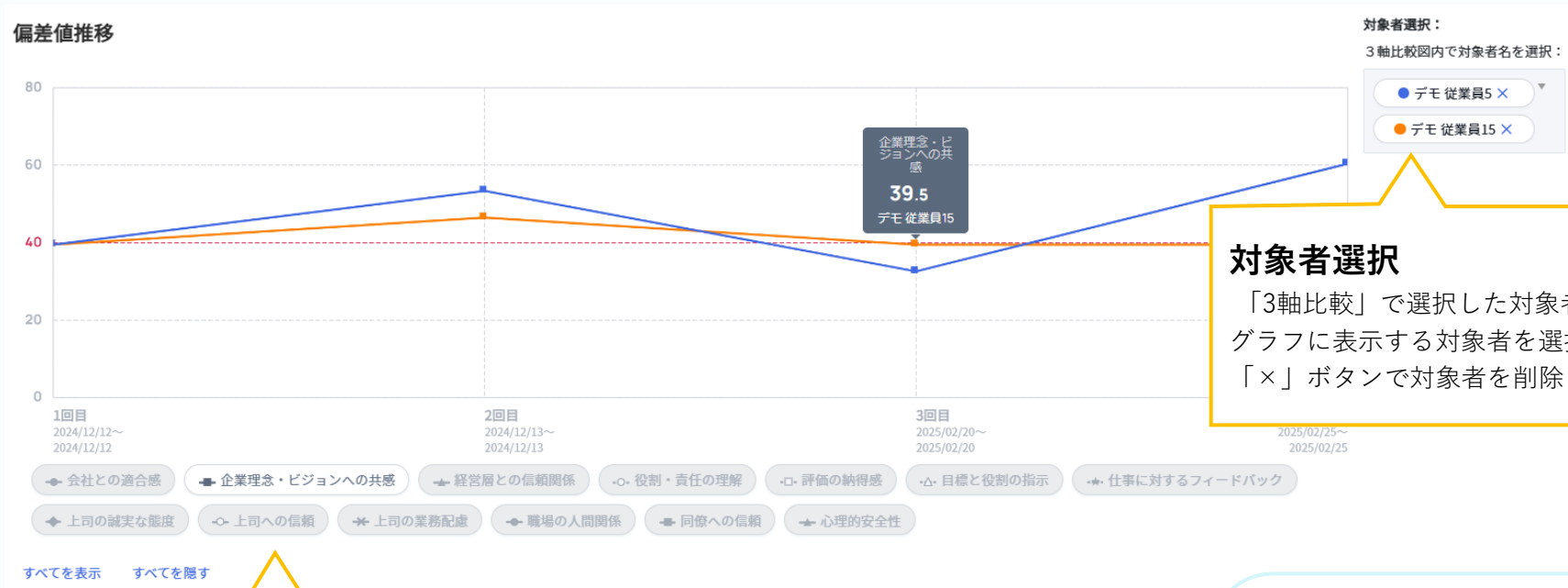
「3軸比較」でクリックした対象者が表示されます
「×」ボタンで対象者を削除します。

💡 キホンの読み方

偏差値40未満の因子は要注意です。

3-2. レポート（分析レポート：偏差値推移）

職場のコミュニケーションに関連する各因子の推移を折れ線グラフで表示します。



対象者選択
「3軸比較」で選択した対象者の中から、グラフに表示する対象者を選択します。「×」ボタンで対象者を削除します。

因子の絞り込み
各因子をクリックすることで、グラフに表示する因子を絞り込んで表示します。特定の因子に絞って推移を追ったり、全因子を表示して全体の因子の推移を掴むことができます。

キホンの読み方
偏差値が著しく低下した因子を確認しましょう。

